

健康やまぐち21
歯の健康
編

いつまでもすすりてきな笑顔とかがやく歯

80歳になっても20本の歯を保とう

このコーナーでは、「健康やまぐち21計画」を進める11の分野の健康づくりについて、一つずつご紹介していきます。

健康に対する関心が高まり、生涯を通じて健康で豊かな人生を送りたいという「QOL」(生活の質)の向上が求められています。なかでも、自分の歯でバランスのとれた食生活を送ることは、健康づくりの基礎であり、いきいきとした長寿社会を築く元となっています。

県では、80歳になっても、自分の歯を20本以上保つことを目標とした8020運動を推進しているところですが、平成12年3月に策定された「健康やまぐち21計画」をさらに展開するために2010年の目標達成に向けて目安を定め、ライフステージや対象別に

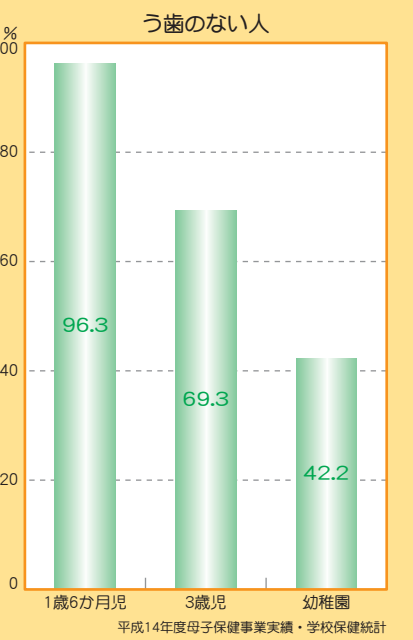
「た」やまぐち8020推進の手引き“を作成しました。その概要の一部をお知らせします。
つ歯(むし歯)や歯周疾患の予防は、生活習慣に大きな関わりがあることから、県民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識をもって、日常生活の中で実践できることから取組んでみましょう。



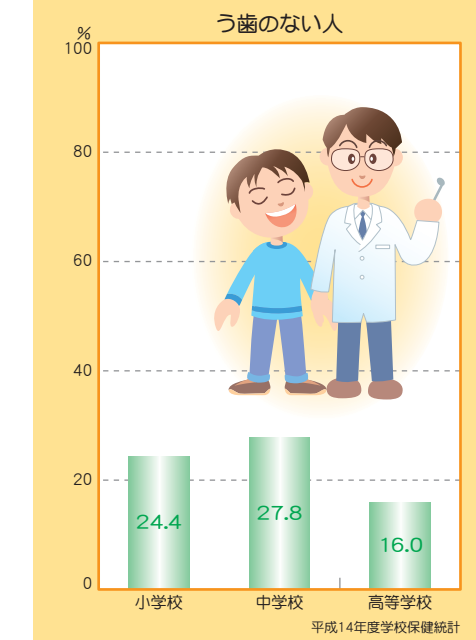
ライフステージ

現状

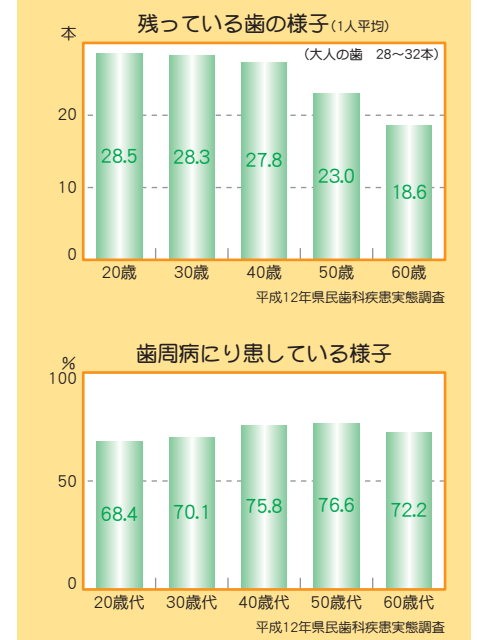
2010年の目安



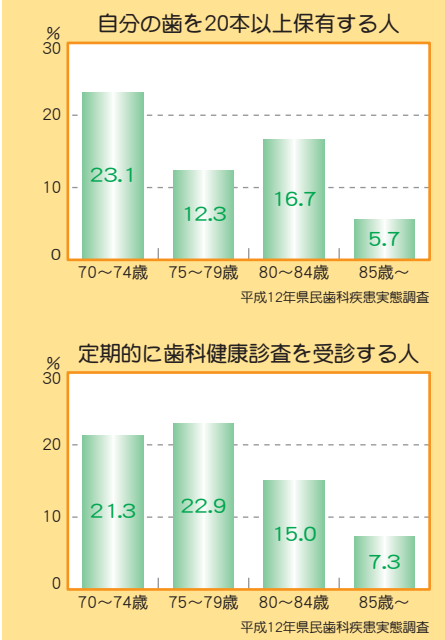
- 1歳6か月児 う歯のない人の割合 **96.3%以上**
- 3歳児 う歯のない人の割合 **80%以上**
- 幼稚園児 う歯のない人の割合 **42.2%以上**
- 3歳まで フッ化物歯面塗布を受けたことがある人の割合 **50%以上**



- 小学生 う歯のない人の割合 **24.4%以上**
- 中学生 う歯のない人の割合 **27.8%以上**
- 12歳児 1人平均う歯数 **1歯以下**
- 12~14歳児 歯肉炎に罹患していない人の割合 **73%以上**
- 高校生 う歯のない人の割合 **16%以上**
- 学齢期 フッ化物配合歯磨剤を使用する人の割合 **90%以上**
- 小、中学校等の フッ化物洗口の実施施設 **増やす**



- 40歳代、50歳代 進行した歯周炎に罹患している人の割合 **30%以上の減少**
- 60歳 (55~64歳) 24本以上の自分の歯を有する人の割合 **50%以上**
- 定期的に歯科健康診査を受けている人の割合 **30%以上**



- 80歳 (75~84歳) 20本以上の自分の歯を有する人の割合 **20%以上**
- 定期的に歯科健康診査を受けている人の割合 **19%以上**

